

## あとがき

私たちのまち能登川町では、はるか1万年前の太古から豊かな自然に恵まれて人々の暮らしが営まれてきました。この悠久の時の流れは、つきない先人達の知恵と不断の努力とがあいまって多くの歴史文化を育み、このまちの個性ともいべき風土を生んできました。いまに生きる私たちは、この風土を大切にするとともに、ますますこの地に磨きをかけ、次の世代に引き継いでいかなければなりません。

そこで町では「水・緑・人が輝く水車のまち能登川」をテーマに淡海文化の創造を進める一策として、ふるさと能登川を再発見し、次の世代に引き継がなければならないメッセージや町の情報の発信を目的として、本冊子の発刊を計画しました。編集にあたっては、町民の主体的な取り組みとして、昨年7月に「能登川ふるさと百科編集委員会」を発足し、15名の編集委員のもとにさまざまな情報の収集と編集作業が進められてきました。

いままで気にもとめられなかった小さな情報や、暮らしのなかに息づいている数々の文化が、日頃から惜しみなく郷土を愛してこられた編集委員各位の英知と情熱に出会ったとき、現代から次の世代に生きる人々へのかけ橋として貴重な資料となることに、感銘の念を禁じえません。

折りしもいままさに、20世紀から21世紀に移ろうとする大きな時代の節目にあります。

本冊子が一人でも多くの方々に親しまれ活用されるなかで、現在の暮らしぶりを顧みる契機となり、さらに未来への羅針盤となれば幸いです。

最後に、このたび多大のご尽力をいただきました編集委員をはじめ、情報をご提供いただきました皆様方に心から厚くお礼申し上げます。

平成9年秋

能登川町長 杉田 久太郎

## 能登川町町民憲章

わたしたちは、和(やわらぎ)のある能登川町をつくるために、この町民憲章を定めます。

- 1 .水と緑の恵みのなかで、  
歴史と伝統を守りましょう。
- 1 .隣人と語りいたがいに助け合う、  
心の輪をひろげましょう。
- 1 .強い心とからだを育て、  
教養を深めましょう。
- 1 .生きる喜びをかんじ、  
明るい環境をつくりましょう。
- 1 .若い力を活かし、  
伸びゆくまちを築きましょう。

## 能登川町歌

作詞 小椋トヨ子  
作・編曲 飯田 信夫

- 1 きぬがさやま  
繖 山の みどりこく  
文化と歴史 はぐくみて  
ともに手を取り なごみつつ  
ゆたかな心 育てゆく  
やわらぎ まち ちょう  
和 の町 能登川町
- 2 しぜん めく  
自然の恵み ゆたかなる  
このふるさとに みちあふる  
大地 汗し はたをおり  
の  
伸びゆく町を きずきゆく  
力 ある町 能登川町
- 3 びわ なみ ひ  
琵琶のさざ波 陽にはえて  
かがや みらい てら  
輝く未来 照しゆく  
まちびと  
町民こぞり 夢語る  
こえたか あいわ  
声高らかに 相和して  
さかえ  
栄 ゆく町 能登川町

## 編集後記

「うずもれている大切な文化にスポットを……」を合言葉に、町当局が淡海文化推進パイロット事業の一つとして「能登川ふるさと百科」の発刊を企画されました。本事業は当町の風景、産業、歴史、自然などさまざまな分野にスポットをあて、現代に生きる私たちが次世代に継承したいことを記録していこうとするものです。

公募により参画した15名は、このような冊子出版事業に携わった経験をもつ者はほとんどなく、ただ、「わが町能登川を本にして残したい」との熱意で編集にあたることになりました。

平成8年7月まさに七夕の日、第1回編集委員会が開かれスタートしました。

本事業が本年11月、町立総合文化情報センターのオープン記念事業の一つに位置づけられているものですから、編集期間はずか1カ年。急ぎ分担を決め作業にとりかかることになりました。

この冊子の編集にあたって留意しましたことは、

この冊子で当町のさまざまな分野の事象を網羅すること  
写真をできるだけ多く掲載し、親しみやすいものにする  
こと

小・中学生にも見て楽しめるよう編集すること

の3点です。

15名のスタッフは、資料収集のために町内を駆けずり回りました。多くの町民の方々が本事業の趣旨にご理解をいただき、積極的に資料を提供してくださいました。また、17名の資料収集協力員や各行政区の区長をはじめ、役員の方々のお力添えもあって、ようやく出版にこぎつけることができました。そのほか、多くのご協力をいただきました皆さま方に心より感謝いたします。

さらに、写真家今森光彦氏には芸術的な香気あふれる作品により、当町の新しい断面を提示していただきましたことにつきましても深く感謝いたします。

なお、『能登川てんこもり』は全委員から提出された25候補名から選びました。タイトル通り、町内の貴重な事象が盛りだくさん折りこまれています。

最後に、本冊子『ふるさと百科 能登川てんこもり』が町内各家庭に愛蔵され、時を経て常にお茶の間の友になれば……と心より願っています。

平成9年10月

編集子

## 協力者一覧

### 編集委員

井口 博之〔委員長〕  
辻村 定好〔副委員長〕  
福嶋 崇雄〔編集部長〕  
長谷川美雄〔資料収集部長〕  
谷村多恵子〔総務部長〕  
京極 温子  
相馬糸千代  
福原 昭晃  
青峰 芳雄  
森野 真  
西川 道忍  
青木 正士  
河合 菊男  
高山 幸生  
飯田 充

### 資料収集協力者〔50音順・敬称略〕

大前 一郎  
尾原 薫亮  
川村 弘  
小林 敬三  
田附 徳松  
辻 市郎  
中村 新三  
平尾 明  
福井 伊一  
福坂 保  
藤野 智誠  
藤野 英男  
堀口 明子  
村田 清  
本持 忍  
脇 安明  
渡辺勲兵衛

### 編集協力者〔50音順・敬称略〕

浅井 明美  
阿部 信夫  
井口 高蔵  
井口 和之  
石井 實  
伊関 照男  
市居清九郎  
今堀宗三郎  
今堀 賢蔵  
今堀 利三  
宇賀 武  
浮気 正三  
宇野 誠一  
大橋 章浩  
奥居孝一郎  
奥村 重義  
片山 智成  
片山 家  
桂 紹隆  
加藤 静男  
加藤 英男  
上久保 茂  
上林 元治  
上林 貴  
上林 義道  
河崎 整三  
川南 寿一家  
北川 照美  
北村 浩  
木下 昇一  
木下 新八  
木下長一郎  
清谷 恵宏  
汲田 吉蔵  
国領 迪則  
小西 昭三  
小林 敏雄  
佐々木勇治  
里田 清夫  
鈴木 昌和  
辰巳三喜雄  
田井中達三  
田井中文彦  
田口 勉  
辻 広浩  
辻 良樹  
辻村 定雄  
寺島 真一  
寺島 靖明  
寺村桂太郎  
富江 紀之  
富江 彦仁  
富江 浩和  
富江 房雄  
豊田 彦衛  
内藤 昌  
中川 真澄  
仲西 和彦  
中村 光志  
西村 恵信  
野田 康司  
平居 義男  
藤葉 性信  
藤村 明  
藤村 嘉明  
村田 明  
村田 真一  
村田 平(西殿)  
村林 正明  
村林 保蔵  
森野忠治郎  
森野 英俊  
矢古島愛子  
梁瀬 貞樹  
山路 権一  
山本 浩三  
山本 安彦  
Amy L. Demarest  
Gerard L. Mahoney  
Laurel E. Griffin

### 各行政区長 各生涯学習推進委員

江差町  
小川宮農組合  
乙女浜協議所  
北川織物工場  
京くみひも 信  
篠栗町  
JAグリーン近江大中の湖総合営農センター  
JAグリーン近江能登川総合営農センター  
JA東能登川  
滋賀県中部地域農業改良普及センター  
滋賀県中部地域農業改良普及センター西部支所  
滋賀県東北部工業技術センター能登川支所  
滋賀県農政水産部農政課  
滋賀県立安土城考古博物館  
滋賀県立琵琶湖博物館  
私立止揚学園  
(株)田井中製菓  
テーバー町  
(株)東陽開発  
日清紡(株)能登川工場  
日本電気硝子(株)

ネグロス電工(株)  
能登川こぼと保育園  
能登川ひばり保育園  
能登川めじろ保育園  
能登川つばめ保育園  
能登川かもめ保育園  
能登川ちどり保育園  
能登川町立第一幼稚園  
能登川町立第二幼稚園  
能登川東小学校  
能登川西小学校  
能登川南小学校  
能登川北小学校  
能登川中学校  
能登川高校  
能登川町漁業協同組合  
能登川町子ども会指導者連絡協議会  
能登川町青年団  
能登川町地域連合婦人会  
能登川町老人クラブ連合会  
(株)ホームコーポレーション  
増本藤兵衛酒造場  
八日市警察署  
八日市農事務所土地改良一課

## 参考文献

書名 / 編著者名 / 発行元 / 発行年

- 『あおいびわ湖(小学校編)改訂版』 滋賀県教育委員会・滋賀県生活環境部 滋賀県 1988
- 『岩波 仏教辞典』 中村元 岩波書店 1989
- 『近江神崎郡志稿 上・下巻』 大橋金造編輯縣滋賀 神崎郡教育會 1928
- 『近江ちぢみ 能登川麻布史』 能登川麻布史編字委員会 近江麻夜具座布団地域振興会 1978
- 『近江の奇祭 伊庭の坂下し祭』 伊庭祭保存会 伊庭祭保存会 1985
- 『近江輿地志略』 改訂補注復刻版 宇野健一 弘文堂 1976
- 『小川の歴史』 長谷川美雄 長谷川美雄 1994
- 『きぬがさ百話』 中川真澄 中川真澄 1985
- 『きぬがさ百話 第2集』 中川真澄 中川真澄 1987
- 『現代風俗通信 '77 ~ '86』 鶴見俊輔 学陽書房 1987
- 『結成30周年記念誌 あゆんだ30年』 能登川町老人クラブ連合会 能登川町老人クラブ連合会 1990
- 『研究紀要 第4集』 能登川町史談会 能登川町史談会 1984
- 『検索入門 川と湖の魚 1・2』 川那部浩哉・水野信彦 保育社 1989・90
- 『広辞苑 第三版』 新村出編 岩波書店 1983
- 『広報のとがわ』 第33号 能登川町広報編集委員会 能登川町広報編集委員会 1966
- 『広報のとがわ』 第76号 能登川町総務課 能登川町総務課 1970
- 『広報のとがわ』 第100号 能登川町総務課 能登川町総務課 1972
- 『広報のとがわ』 第140号 能登川町総務課 能登川町総務課 1976
- 『広報のとがわ』 第320号 能登川町役場 能登川町企画調整課広報交通係 1991
- 『広報のとがわ』 第390号 能登川町総務部企画調整課広報交通係 能登川町総務部企画調整課広報交通係 1997
- 『ポケット図鑑 昆虫』 海野和男 成美堂出版 1993
- 『滋賀県祭礼行事』 滋賀県教育委員会 滋賀県教育委員会 1995
- 『滋賀県統計書』 滋賀県企画部情報統計課 滋賀県企画部情報統計課 毎年
- 『滋賀県農林水産統計年報』 近畿農政局滋賀統計事務所 近畿農政局滋賀統計事務所 1992
- 『滋賀の魚・図解ハンドブック』 滋賀県中学校教育研究会理科部会 新学社 1987
- 『しがの農林水産業統計資料集』 滋賀県農林水産部 滋賀県農林水産部 1996
- 『酒研会報 34,1』 藤井建夫 1995
- 『食料需給表 平成7年度(速報)』 農林水産省 農林水産省 1997
- 『水生生物でみるしがの水』 滋賀県生活環境部環境室 滋賀県 1986
- 『図説 滋賀県の歴史』 木村至宏編 河出書房新社 1987
- 『1995年農業センサス 結果報告書』 滋賀県 滋賀県 1996
- 『体協のあゆみ 昭和編』 能登川町体育協会 能登川町体育協会 1989
- 『大中の湖入植30年の軌跡』 大中の湖入植30周年記念事業会 大中農協 1996
- 『第4回ドラゴンカヌー大会ヤングフェスティバル』 能登川町青年団 能登川町青年団 1996
- 『朝鮮人街道をゆく - 彦根東高校新聞部による消えた道さがし -』 門脇正人 サンライズ印刷出版部 1995
- 『内湖と河川の漁法』 滋賀県教育委員会 滋賀県教育委員会 1980
- 『日本の遺跡なんでも事典』 白石太一郎監修 集英社 1991
- 『日本民俗事典』 大塚民俗学会 弘文堂 1972
- 『能登川町史』 能登川町高校町史研究委員会 能登川町 1976
- 『能登川町勢要覧』 能登川町 能登川町 1991
- 『能登川町統計書 平成7年度』 能登川町 能登川町 1996
- 『能登川町統計書 平成8年度』 能登川町 能登川町 1997
- 『能登川町の農業』 能登川町 能登川町 1992
- 『能登川のむかし話』 能登川町教育委員会 能登川町教育委員会 1980
- 『能登川町文化協会誌 水おと』 No.5 能登川町文化協会 能登川町文化協会 1997
- 『のとがわふじん』 平成8年5月号 婦人会広報部 能登川町地域連合婦人会 1996
- 『琵琶湖干拓史』 琵琶湖干拓史編さん委員会ほか 琵琶湖干拓史編纂事務局 1970
- 『びわ湖学習の指導資料』 滋賀県立びわ湖フローティングスクール びわ湖フローティングスクール 1992
- 『文化財教室シリーズNo.102 近江の柴漬漁』 中川真澄 (財)滋賀県文化財保護協会 1988
- 『平成4年度(1993年度) 琵琶湖博物館開設準備室委託研究報告書』 水辺の環境研究会 琵琶湖博物館開設準備室 1993
- 『平成6~7年度 琵琶湖および河川の魚類等の生息状況調査報告書』 滋賀県水産試験場 滋賀県水産試験場 1996
- 『別冊太陽 No.49 SPRING'85 明治・大正・昭和 子どもの遊び集』 高橋洋二 平凡社 1985
- 『ポケット図鑑 川・湖・池の魚』 田口哲 成美堂出版 1995
- 『やはた春秋』 中川真澄 中川真澄 1991
- 『マルチメディア魚類図鑑』 田口哲 アスキー出版局 1996
- 『レッドデータブック』 環境庁自然保護局野生生物課 (財)日本野生生物研究センター 1991

---

ふるさと百科

能登川てんこもり

—能登川町総合文化情報センター記念出版—

---

発行日 / 平成9年11月

発行者 / 滋賀県神崎郡能登川町

〒521-1205 滋賀県神崎郡能登川町躰光寺 262

TEL0748-42-1331(代表)

編集協力 / 株式会社 ぎょうせい

---